

取扱説明書



VIRTUBE

VT250FX

2 x 50-Watt Guitar Amplifier with 2 Independent Channels,
VTC Tube Modeling, Dual FX and 2 Original BUGERA 12" Speakers

VT100FX/VT50FX

100/60-Watt Guitar Amplifier with 2 Independent Channels,
VTC Tube Modeling, Dual FX and Original BUGERA 12" Speaker

VT100FXH

100-Watt Guitar Amplifier Head with 2 Independent Channels,
VTC Tube Modeling and Dual FX

目次

ありがとう	2
安全にお使いいただくために	3
法的放棄	3
限定保証	3
1. はじめに	4
1.1 ご使用の前に	4
1.1.1 オンライン登録	4
2. コントロールパネル	4
2.1 フロントパネル	4
2.1.1 CLEAN チャンネル	4
2.1.2 OVERDRIVE CHANNEL	5
2.1.3 DIGITAL FX	5
2.1.4 MASTER セクション	5
2.2 リアパネル	6
2.2.1 FX LOOP	6
3. 使用例	6
3.1 プレイバックを使っでの練習用セットアップ	6
3.2 エフェクト機器を使用してのレコーディング用セットアップ	7
3.3 外部スピーカーキャビネットを使用し でのライブ用セットアップ	7
3.4 VT100FXH の接続	8
4. 設置	8
5. 技術仕様	9

ありがとう

Congratulations! 新世代ギターアンプ VIRTUBE 製品のお買い上げ誠にありがとうございます。このアンプで、あなたの創造性を無限大に広げることが可能となるでしょう。VIRTUBE はあらゆるジャンルの音楽に対応できる数々の性能を備えているため、他の機材を必要とすることなく、これ一台オールラウンドな演奏が可能となります。

JP 安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのもの

です。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

技術的な仕様および製品の的外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関して一切の責任を負いません。色およびス

ペックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有

© 2013 MUSIC Group IP Ltd.

Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146, Road Town, Tortola, British Virgin Islands

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 www.music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

1. はじめに

今日、ギターアンプに求められる性能は非常に多様化してきています。ギタリストには、あらゆるタイプのサウンドを演出できる要素が求められています。そのため、この VIRTUBE 製品に柔軟性に富んだサウンドバラエティと包括的な接続環境を備えることが非常に重要となったのです。しかし、心配は要りません。本 VIRTUBE 製品は、非常に簡単にかつ直感的にその性能をお楽しみいただけるように設計されています。VIRTUBE には、現代のギターアンプに必要とされる機能と信頼性を実現するための、最先端の回路が採用されています。

VTC バーチャルチューブ回路

特別開発された VTC バーチャルチューブ回路によって、古典的なチューブアンプ独特のビンテージなサウンド特性が実現されます。

- ◆ この説明書では装置の機能を理解するために必要となる専門用語が解説されています。必要に応じて再読できるよう、説明書は一度読み終わった後も大切に保管して下さい。

1.1 ご使用前に

製品は、安全な輸送のために工場出荷時に十分な注意を払って梱包しておりますが、万が一包装ダンボールが破損している場合は、機器の外面に破損がないことをご確認ください。

- ◆ 万が一機器に破損がある場合は、保証請求権が無効となることを防ぐために、製品を当社へ直接返送せず、必ず販売代理店および運送会社までご連絡ください。
- ◆ 機器を保管したり輸送する場合は、破損を防ぐために、必ずオリジナルの梱包を使用してください。
- ◆ 機器や包装箱は子供の手の届かない場所に保管してください。
- ◆ 梱包材は環境保護に適した方法で廃棄してください。

2. コントロールパネル

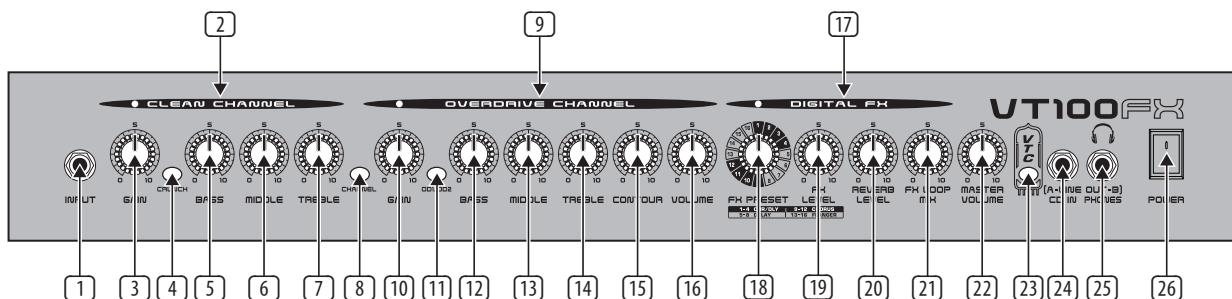


図 VIRTUBE 2.1: のコントローラー (フロントパネル)

2.1 フロントパネル

- ① **INPUT** の表示のある端子は、VIRTUBE のギター接続用 6.3 mm フォンジャックです。接続には、市販されている 6.3 mm モノラルフォンジャックを使用してください。

2.1.1 CLEAN チャンネル

- ② このチャンネルに切り替えると **CLEAN CHANNEL LED** が点灯します。
- ③ **GAIN** コントローラーで、CLEAN チャンネルの音量を調節します。

十分な換気を確保し、過熱を防ぐために 機器は暖房などのそばに設置しないでください。

- ◆ すべての機器が正しく接地されていることを確認します。安全のために、機器や電源回路ケーブルからアース線を取り外したり使用不能にすることは絶対にしないでください。装置は必ずアースの施された電源ケーブルに接続してください。
- ◆ 電波の強い放送局や高周波電源の範囲内では、音質が減退する可能性があります。その場合は、送信機と機器の距離を離し、すべての接続にシールドケーブルを使用してください。
- ◆ 大音量での使用は聴覚障害の原因となるばかりでなく、ヘッドフォンの損傷の原因にもなりますのでご注意ください。装置の電源を入れる前に、すべての **MASTER LEVEL** コントローラーを左に廻しきってください。常に適切な音量での使用を心がけてください。

1.1.1 オンライン登録

ご購入後は、新しい BEHRINGER 機器をぜひご登録ください。<http://behinger.com> にアクセスして、保証条件をご確認ください。

BEHRINGER 販売代理店がお近くにない場合は、behinger.com の“Support”に記載されている該当地域の BEHRINGER 代理店までお問い合わせください。該当地域が記載されていない場合は、behinger.com の“Support”にある“Online Support”で問題を解決できるかどうか確認してください。または、製品を返品する前に、behinger.com でオンライン保証請求の手続きを取ってください。

購入情報と機器を登録しておくことで、お客様からの修理のご依頼を迅速かつ効率的に処理することができます。

製品の登録にご協力ください!

- ④ **CHRUNCH** スイッチ (VT100FXH および VT100FX のみ) を押すと、クリーンサウンドに若干量の歪みを加えることができます。それによってサウンドにダーティで「クランチャー」な特性が加わります。
- ⑤ EQ セクションにある **BASS** コントローラーで、CLEAN チャンネルの低音域のブーストおよびカットが可能です。
- ⑥ **MIDDLE** コントローラーで CLEAN チャンネルの中音域のブーストおよびカットが行えます。
- ⑦ **TREBLE** コントローラーは、CLEAN チャンネルの高音域を調節します。

- ⑧ **CHANNEL** ボタンを押すと、**CLEAN** チャンネルと **OVERDRIVE** チャンネルが切り替わります。現在使用中のチャンネルの LED が点灯します。チャンネルの切替は、すべてのモデルにおいて、付属のフットスイッチでも行うことができます。

2.1.2 OVERDRIVE CHANNEL

- ⑨ このチャンネルに切り替えると **OVERDRIVE CHANNEL LED** が点灯します。
- ⑩ **GAIN** コントローラーで **OVERDRIVE** チャンネルにおける歪みレベルを調節します。
- ⑪ **OD1/OD2** スイッチ (VT100FXH および VT100FX のみ) で二つの異なるオーバードライブサウンドを切り替えることができます。
- ⑫ EQ セクションにある **BASS** コントローラーで、**OVERDRIVE** チャンネルの低音域のブーストおよびカットが可能です。
- ⑬ **MIDDLE** コントローラー (VT100FXH および VT100FX のみ) で **OVERDRIVE** チャンネルの中音域のブーストおよびカットが行えます。
- ⑭ **TREBLE** コントローラーは、**OVERDRIVE** チャンネルの高音域を調節します。
- ⑮ **CONTOUR** コントローラーで中音域の信号特性を変化させることによって、伝統的なロックサウンドやモダンなハイゲインメタルサウンドを実現することができます。
- ⑯ **VOLUME** コントローラーで **OVERDRIVE** チャンネルの音量を決定します。

2.1.3 DIGITAL FX

- ⑰ エフェクトプロセッサを起動すると、**DIGITAL FX LED** が点灯します。
- ⑱ **FX PRESET** コントローラーで、16 種類のエフェクトの中から 1 種類を選択します。

プリセット	エフェクト
1-4	コーラス / ディレイ
5-8	ディレイ
9-12	コーラス
13-16	フランジャー

表 2.1:エフェクト

- ⑲ **FX LEVEL** コントローラーで、原音とエフェクト信号のミックスバランスを調節することができます。
- ⑳ **REVERB LEVEL** コントローラーで、リバース効果のレベルを調節します。
- ㉑ **FX LOOP MIX** コントローラー (VT100FXH および VT100FX のみ) は、外部エフェクトのエフェクトレベルを設定します (第 2.2.1 章「エフェクトループ」参照)。

2.1.4 MASTER セクション

- ㉒ **MASTER VOLUME** コントローラーで、全体の音量およびライン出力 / ヘッドフォン出力の音量を調節します。
- ㉓ この **VTC** プッシュボタンで **VTC** バーチャルチューブ回路の起動 / 解除を行います。
- ㉔ **CD IN** 端子に CD プレイヤーやテーブデッキ、CD および MD ウォークマンといった機器を接続することができます。これによって、好みの音楽 CD に合わせてギターを演奏もしくは練習することができます。この端子は、**LINE OUT** 出力として使用することも出来ます。その場合、ギター信号はスピーカーシミュレーションなしで、外部のアンプか、もしくはミキサーに送り込まれます。VIRTUBE のスピーカーはこの時ミュートされません。
- ㉕ **LINE OUT/PHONES** 端子にヘッドフォンを接続します。ヘッドフォン信号には、より本格的なサウンドを再現するため、アンプに内蔵されたスピーカーシミュレーションが加えられます。ヘッドフォン使用時は、VIRTUBE のスピーカーはミュートされます。
- ◇ ヘッドフォン出力の信号は、そのままミキサーへ送ることが可能です。その際は、ヘッドフォン出力とミキサー側の **LINE** 入力を接続してください。接続には、モノラルフォンジャックを使用してください。フロアノイズが発生する場合は、**BEHRINGER ULTRA-DI DI100** または **DI20** のような **DI** ボックスを中間に接続して、ノイズを除去してください。
- ◇ ヘッドフォンによっては、大音量で使用すると音声信号に歪みが発生するものがあります。その場合は、音声信号から歪みがなくなるまで、ヘッドフォンの音量を下げてください。
- ㉖ **POWER** スイッチを押して VIRTUBE に電源を投入します。本機を電源コンセントに接続する際には、必ず **POWER** スイッチを「オフ」にしておいてください。
- ◇ **注意: POWER** スイッチを切っただけでは、電源が完全に切れたことにはなりません。装置の電源を完全に切る場合は、電源コードをコンセント (主電源) から抜いてください。装置を使用する際は、電源ケーブルが完全な状態であることをご確認ください。長い間本装置を使用しない場合は電源コードをコンセント (主電源) から抜いてください。

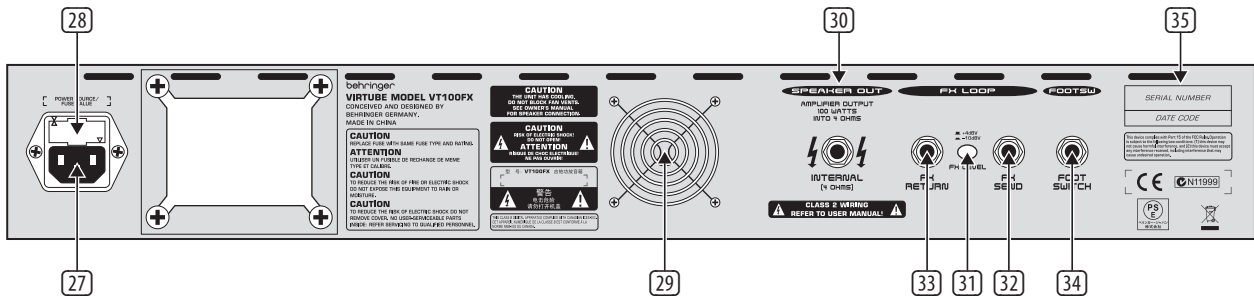


図 2.2: VIRTUBE のコントローラー (リアパネル)

2.2 リアパネル

- 27 電源への接続には標準型 IEC コネクター付きケーブルを使用します。専用ケーブルは本体装置に付属しています。
- 28 ヒューズホルダー / 電圧セレクト。本装置をコンセントに接続する前に、装置本体が供給電源に合わせて設定されているかどうかを必ず確認して下さい。ヒューズ交換の際には必ず同じタイプのものを使用して下さい。装置によっては 230V と 120V の切替を行うため、ヒューズホルダーが 2 つの位置で使用されている場合があります。本製品をヨーロッパ以外の国において 120V で使用する場合は、より値の大きなヒューズを使用してください (第 4 章「設置」参照)。
- 29 アンプ冷却用のファンです。
- 30 両 **SPEAKER OUT** 端子 (VT100FX および VT50FX では端子は一つです) に、4 オーム以上の外部スピーカーキャビネットを接続することが出来ます。VT250FX の出力は、各チャンネルごとに 50W (L/R) となっています。スピーカーキャビネットを接続する際は、最適な出力を確保するために、それぞれ 8 オーム以上のキャビネットをご使用ください。SPEAKER OUT 端子を使用すると、内蔵のスピーカーはミュートされます。

2.2.1 FX LOOP

- 31 **FX LEVEL** スイッチで、FX LOOP を外部エフェクト機器の使用レベルに切り替えることが出来ます (+4 dBu/-10 dBV)。
- 32 VIRTUBE には、例えばリバーブなどの外部エフェクトを接続するためのエフェクトループが備えられています。その場合は、**FX SEND** 端子とエフェクト機器の入力端子を接続してください。
- ◆ **FX SEND** は、エフェクトなしの平行出力としても使用できるため、例えばギタードライ信号のレコーディングなどに便利です。RETURN 端子に信号が流れていない限り、内部信号は一切影響されません。
- 33 **FX RETURN** 端子と外部エフェクト機器の出力端子を接続してください。VT250FX はステレオアンプのため、L/R の二つの端子が備えられています。
- 34 **FOOTSWITCH** 端子に、付属のフットスイッチのステレオフォンジャックを接続してください。フットスイッチで、二つのチャンネルの切り替えと DIGITAL FX のオン/オフをコントロールすることが出来ます。
- 35 シリアルナンバー。

3. 使用例

VIRTUBE には、様々なアプリケーションに対応できるよう各種接続端子が備えられています。以下は VIRTUBE の使用例です。

3.1 プレイバックを使つての練習用セットアップ

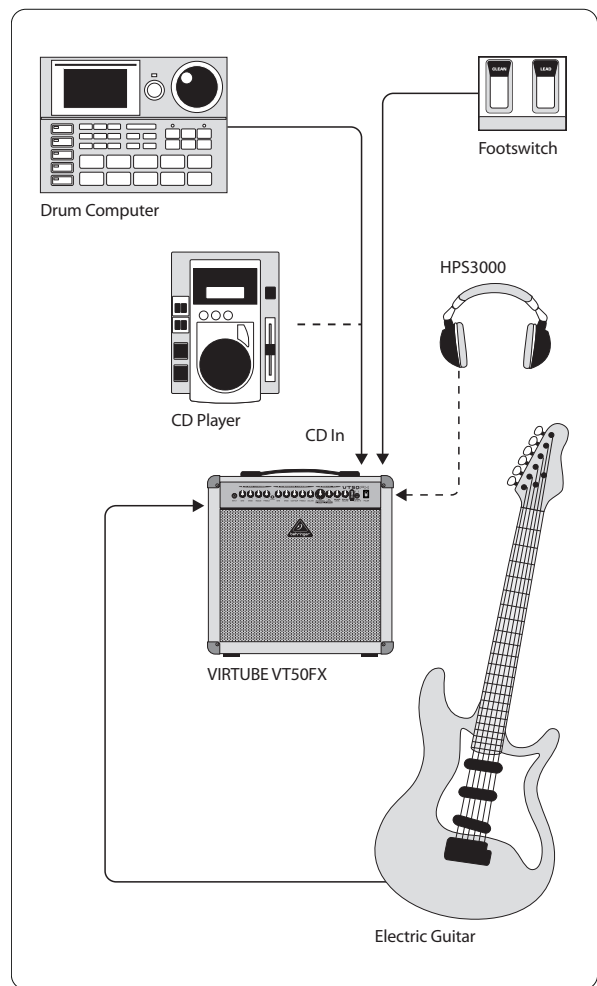


図 3.1: VT50FX 使用時の標準的なセットアップ

リハーサルルームもしくは自宅での練習に使用する際は、VIRTUBE を図 3.1 のように接続してください。CD IN 入力端子に CD プレイヤーもしくはドラムコンピューターを接続してください。練習時にヘッドフォンを使用したい場合は、ヘッドフォンを PHONES 端子に接続してください。スピーカーは自動的にミュートされます。付属のデュアルフットスイッチを VIRTUBE の FOOTSWITCH 端子に接続してください。CHANNEL フットスイッチでチャンネルの切替が行えます。EFFECT フットスイッチで、エフェクトのオン/オフを切り替えます。

3.2 エフェクト機器を使用時のレコーディング用セットアップ

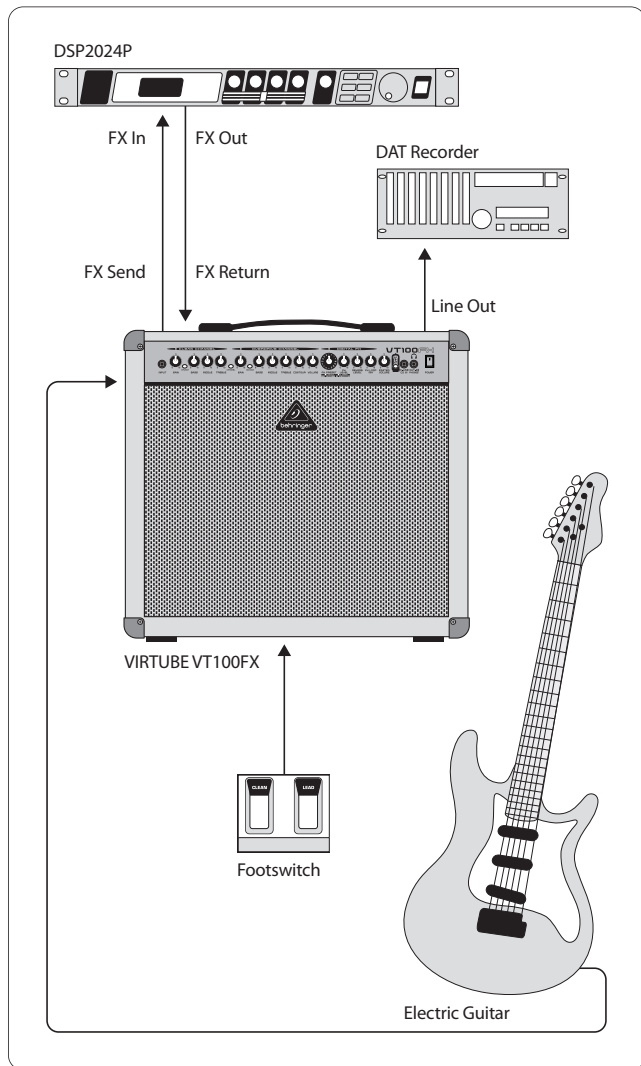


図 3.2: VT100FX を使用したレコーディング用セットアップ

VIRTUBE をホームレコーディングもしくはスタジオでの作業に使用したい場合は、図 3.2 で示したような接続方法をお勧めします。この場合でも、CD プレイヤーやドラムコンピューターの接続は可能ですが、ここではより分かりやすい説明のために省略してあります。エフェクト機器の入力端子を FX SEND に接続し、出力端子を FX RETURN に接続してください。

ギター信号にエフェクトを加えてレコーディングしたい場合は、PHONES 出力をミキサーやオーディオシーケンサー、もしくは MTR にそれぞれ接続してください。

エフェクト信号の加わっていないドライなギター信号を録音する場合は、FX SEND 端子を使用します。両出力端子を同時に使用すれば、FX SEND 出力からのドライ信号を録音しながら、PHONES 出力からのウェット信号をモニターすることが可能となります。

19 インチラック式のエフェクト機器の代わりに、ワウペダルやその他のコンパクトエフェクターをエフェクトループに接続することも可能です。ただし、FX LOOP は、プリアンプの歪み段階通過後のシグナルパスとなっていることにご注意ください。

3.3 外部スピーカーキャビネットを使用時のライブ用セットアップ

JP

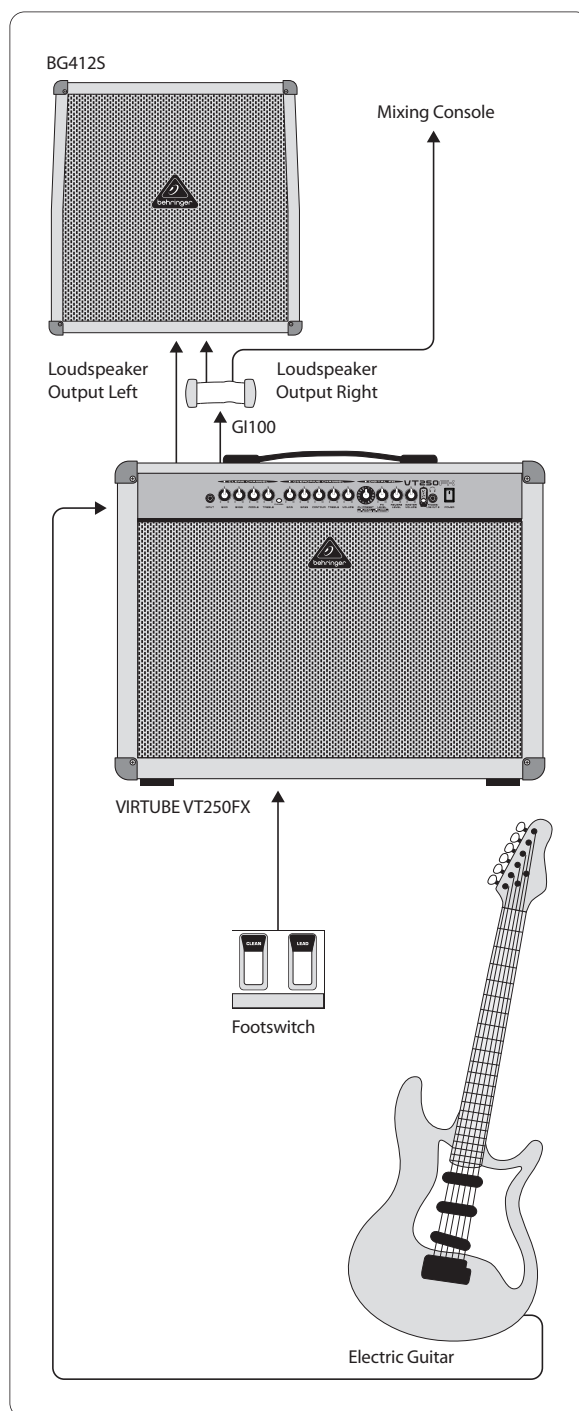


図 3.3: VT250FX とスピーカーキャビネット一台を使用したセットアップ

図 3.3 では LINE OUT 信号がミキサーにルートされています。VIRTUBE の SPEAKER OUT 出力端子 (VT100FX および VT50FX ではそれぞれ一つずつです) に外部のギタースピーカーキャビネットを接続すれば、ステージでより力強く音量の大きなサウンドが達成できます。VT250FX は、2 台のキャビネットを使用時のステレオモードか、もしくは BEHRINGER ULTRASTACK BG412S のようなステレオキャビネットを 1 台接続して使用することをお勧めします。

3.4 VT100FXH の接続

VT100FXH には 2 つの SPEAKER OUT 出力が備えられています。ここに 1 台、もしくは 2 台の外部スピーカーキャビネットを接続することができます。VT100FXH を最適な出力数で使用するためには、4 オーム以上のキャビネットを両スピーカー出力端子に接続してご使用ください。ヘッドフォンを PHONES 端子に接続すると、スピーカー出力は自動的にミュートされます。

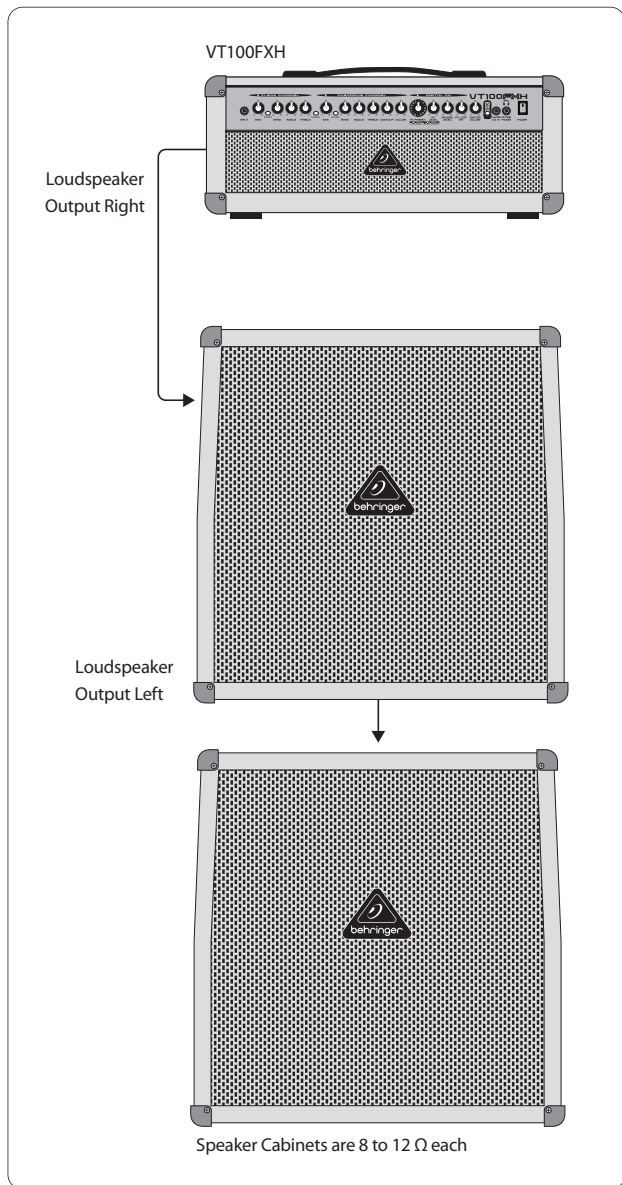


図 3.4: VT100FXH に 2 台のキャビネットを接続

4. 設置

BEHRINGER VIRTUBE のオーディオ入力 / 出力は、ヘッドフォン出力と CD IN 入力端子 (ステレオフォンジャック) を除き、すべてモノラルフォンジャック仕様となっています。これに関する詳細は、第 5 章「技術仕様」をご参照ください。

- ◆ 機器のインストールとサービスは、必ず専門家だけが行うように注意してください。インストールの間そしてその後も操作する人は、常にアースするように注意してください。もしそうでない場合は、静電気の漏洩によりシステムの特徴が損なわれる可能性があります。

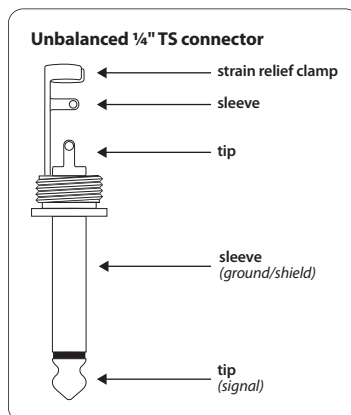


図 4.1: 6.3-mm モノラルフォンジャック

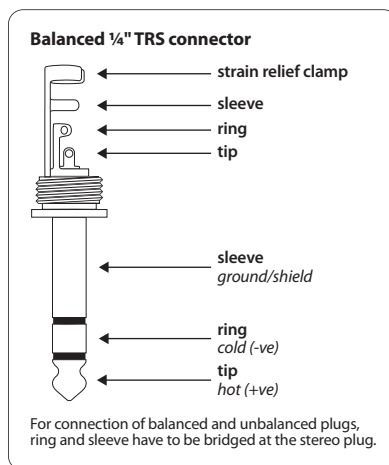


図 4.2: 6.3-mm ステレオフォンジャック

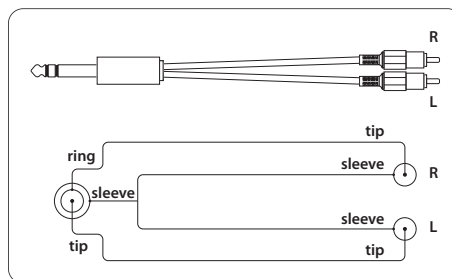


図 4.3: ステレオアダプターケーブル

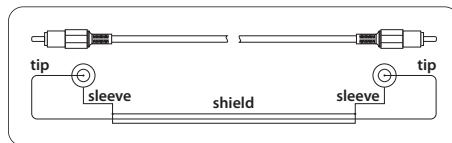


図 4.4: モノラルアダプターケーブル

5. 技術仕様

VT250FX

オーディオ入力

Input	6.3 mm モノラルフォンジャック RF フィルタード
入力インピーダンス	約 1 M Ω アンバランス型
FX Return	2x6.3 mm モノラルフォンジャック
入力インピーダンス	約 33 k Ω アンバランス型
CD In	6.3 mm ステレオフォンジャック
入力インピーダンス	約 5.6 k Ω アンバランス型

オーディオ出力

FX Send	6.3 mm モノラルフォンジャック
出力インピーダンス	約 5.6 k Ω アンバランス型
Line Out / Phones	アンバランス型 6.3 mm ステレオ フォンジャック
出力レベル	最大 +16 dBV / 100 Ω

スピーカー出力

タイプ	2x6.3 mm フォンジャック
最低負荷インピーダンス	2x8 Ω

アンプ

最大出力	2x50 W / 8 Ω
------	---------------------

デジタル信号処理

コンバータ	24-bit デルタシグマ
サンプリングレート	40 kHz

スピーカー

サイズ	2x12"
モデル	BUGERA ピンテージギターシ リーズ 2x12G50J8
インピーダンス	2x8 Ω
継続出力 (IEC268-5)	2x50 Watts
最大出力	2x200 Watts

電源電圧

消費電力	最大 180 W
------	----------

ヒューズ

100 V~, 50/60 Hz	T 3.15 A H 250 V
------------------	------------------

120 V~, 50/60 Hz	T 2.5 A H 250 V
------------------	-----------------

220 - 230 V~, 50/60 Hz	T 1.25 A H 250 V
------------------------	------------------

電源接続	標準 IEC ケーブル
------	-------------

外形寸法 / 重量

外形寸法 (高さ x 幅 x 奥行)	520 x 670 x 275 mm
-----------------------	--------------------

重量	22.2 kg
----	---------

VT100FX

オーディオ入力

Input	6.3 mm モノラルフォンジャック RF フィルタード
入力インピーダンス	約 1 M Ω アンバランス型
FX Return	6.3 mm モノラルフォンジャック
入力インピーダンス	約 33 k Ω アンバランス型
CD In	6.3 mm ステレオフォンジャック
入力インピーダンス	約 5.6 k Ω アンバランス型

オーディオ出力

FX Send	6.3 mm モノラルフォンジャック
出力インピーダンス	約 8.2 k Ω アンバランス型
Line Out / Phones	アンバランス型 6.3 mm ステレオ フォンジャック
出力レベル	最大 +16 dBV / 100 Ω

スピーカー出力

タイプ	6.3 mm フォンジャック
最低負荷インピーダンス	4 Ω

アンプ

最大出力	100 W / 4 Ω
------	--------------------

デジタル信号処理

コンバータ	24-bit デルタシグマ
サンプリングレート	40 kHz

スピーカー

サイズ	12"
モデル	BUGERA ピンテージギターシ リーズ 12G70J4
インピーダンス	4 Ω
継続出力 (IEC268-5)	70 Watts
最大出力	280 Watts

電源電圧

消費電力	最大 180 W
------	----------

ヒューズ

100 V~, 50/60 Hz	T 2.5 A H 250 V
120 V~, 50/60 Hz	T 2.5 A H 250 V
220 - 230 V~, 50/60 Hz	T 1.0 A H 250 V
電源接続	標準 IEC ケーブル

外形寸法 / 重量

外形寸法 (高さ x 幅 x 奥行)	550 x 580 x 275 mm
重量	20.4 kg

VT50FX

オーディオ入力

Input	6.3 mm モノラルフォンジャック RF フィルタード
入力インピーダンス	約 1 M Ω アンバランス型
FX Return	6.3 mm モノラルフォンジャック
入力インピーダンス	約 33 k Ω アンバランス型
CD In	6.3 mm ステレオフォンジャック
入力インピーダンス	約 5.6 k Ω アンバランス型

オーディオ出力

FX Send	6.3 mm モノラルフォンジャック
出力インピーダンス	約 5.6 k Ω アンバランス型
Line Out / Phones	アンバランス型 6.3 mm ステレオ フォンジャック
出力レベル	最大 +16 dBV / 100 Ω

スピーカー出力

タイプ	6.3 mm フォンジャック
最低負荷インピーダンス	8 Ω

アンプ

最大出力	60 W / 8 Ω
------	-------------------

デジタル信号処理

コンバータ	24-bit デルタシグマ
サンプリングレート	40 kHz

スピーカー

サイズ	12 インチ
モデル	BUGERA ピンテージギ ターシリーズ 12G50J8
インピーダンス	8 Ω
継続出力 (IEC268-5)	50 Watts
最大出力	200 Watts

電源電圧

消費電力	最大 90 W
------	---------

ヒューズ

100 V~, 50/60 H	T 1.6 A H 250 V
120 V~, 50/60 Hz	T 1.25 A H 250 V
220 - 230 V~, 50/60 Hz	T 630 mA H 250 V
電源接続	標準 IEC ケーブル

外形寸法 / 重量

外形寸法 (高さ x 幅 x 奥行)	520 x 515 x 275 mm
重量	16.5 kg

VT100FXH

オーディオ入力

Input	6.3 mm モノラルフォンジャック RF フィルタード
入力インピーダンス	約 1 M Ω アンバランス型
FX Return	6.3 mm モノラルフォンジャック
入力インピーダンス	約 33 k Ω アンバランス型
CD In	6.3 mm ステレオフォンジャック
入力インピーダンス	約 5.6 k Ω アンバランス型

オーディオ出力

FXSend	6.3 mm モノラルフォンジャック
出力インピーダンス	約 8.2 k Ω アンバランス型
Line Out / Phones	アンバランス型 6.3 mm ステレオ フォンジャック
出力レベル	最大 +16 dBV / 100 Ω

スピーカー出力

タイプ	2 x 6.3 mm フォンジャック
最低負荷イ	4 Ω インピーダンス

アンプ

最大出力	100 W / 4 Ω
------	--------------------

デジタル信号処理

コンバータ	24-bit デルタシグマ
サンプリングレート	40 kHz

スピーカー

サイズ	—
モデル	—
インピーダンス	—
継続出力 (IEC268-5)	—
最大出力	—

電源電圧

消費電力	最大 180 W
------	----------

ヒューズ

100 V~, 50/60 Hz	T 2.5 A H 250 V
120 V~, 50/60 Hz	T 2.5 A H 250 V
220 - 230 V~, 50/60 Hz	T 1.0 A H 250 V
電源接続	標準 IEC ケーブル

外形寸法 / 重量

外形寸法 (高さ x 幅 x 奥行)	250 x 580 x 270 mm
重量	12.7 kg

BEHRINGER 社は、最高の品質水準を保つ努力を常に行っています。必要と思われる改良等は、事前の予告なしに行われますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違する場合がありますが、あらかじめご了承ください。



We Hear You